



編集発行

公益社団法人

四街道市シルバー人材センター

普及啓発委員会 広報編集グループ

四街道市和良比181-37

電話 043-497-5080

<http://www.sjc.ne.jp/yotsukaidou/>

自主・自立・共働・共助の理念と安全就業



ツバメの子育て（田原 巖 会員撮影）

ひとりでも

多くの仲間を !!

暑中お見舞い
申し上げます。

この夏は、例年以上の
厳しい暑さが予想され
ます。先ず以って、体調
管理には十分気をつけ
て頂き、無事故の就業
をお願いいたします。

さて、業績につきましては、昨年度の契約高が
2億5,514万円となり、過去最高となりました
が、前年比では0.2%増の微増でありました。

前年並みに留まった理由としては、一つは会員
数が伸び悩んでいるということ、もう一つは、天
候異変があげられます。

昨年10月の長雨、冬に入ってから寒波により、
受注の消化に支障を来しました。

会員が増えないということは、これから進め
なければならない派遣事業や、介護予防・日常生
活支援総合事業をはじめ、あらゆる事業に影響を
及ぼすものと考えます。

そこで、会員増を目指すために、この4月に
理事2名、会員4名からなる「会員増強促進委
員会」を立ちあげました。会員増につながる、
ありとあらゆる方策を打ち出して頂くようお願い
しております。

この問題の解決の成否は、会員のみなさんの
協力の如何ともいえますので、伏してご協力の
ほどお願いいたします。

翻って、当シルバー人材センター会員の高齢化
は、年毎に高まってきております。酷暑と共に、
体力低下となり易い時季でもありますので、前段
でも申しあげました体調管理には、万全を期して
下さい。

今年度は、“平成”最後の年度となります。

当シルバー人材センターといたしましても、
今年度を「有終の美」で飾ることが出来ますよ
う、会員皆さんの一層のご協力をお願いいたし
ます。

公益社団法人四街道市シルバー人材センター
会長 齊藤 勝璋



技術の継承、伝統ある職場

～ 襖・障子・網戸の張替え作業 ～

襖班 福田 俊夫 会員
(四和小・和良比小地区1班)

私たち襖班は、四街道市シルバー人材センターの誕生以来、長い歴史と、歴代諸先輩から技術と機材を継承し、伝統ある職場と自負しております。

私は、この職種で約10年になります。

現在、就業人員2グループ13名で活動中です。が、近年若い世代の和室の減少、リフォーム等による洋室化の時期にあり、襖、障子共受注は近年減少傾向にあります。他方、昔は自分で張り替えたが高齢になり、自分では処置できないのでシルバー人材センターにお願いしますとのお客様も多くなり、修理、補修を含め誠意対応しております。納品時、「明るく、きれいになった。」と感謝のお言葉を頂いたときは、私達のこの仕事も、



襖の張替え講習会（左：福田会員）

「誰かのお役に立っている。」との実感があり、やり甲斐を感じる仕事です。

市民の皆様にも、シルバー人材センターの中に、襖、障子、網戸の業務が存在していることの周知を図るため、独自のチラシを作り、全員で協力して市内、各戸配布を行い、受注増に努力中です。

活動拠点の1階で、皆和気あいあい作業しています。会員も募集中です。感心のある方、何時でもお寄り下さい。また、年1回技術講習会も開催しております。参加してみても如何でしょうか。

INTERVIEW

会員さんあってこそ

シルバー人材センターです!!

～ “生え抜き” 常務理事・
井原事務局長にインタビュー ～

6月の平成30年度定時総会で、常務理事兼事務局長に選任された井原博道さん。いわば生え抜き職員である井原さんの理事就任は、多くの会員から好意をもって迎えられた。それには、それだけの理由がある。

井原さんが当シルバー人材センターの正職員として採用されたのは昭和63年4月。それから30年余、就業先の開拓、会員の世話など一筋、懸命に務めてきた。これまで仕えた歴代会長は7代、上司の事務局長は13代にわたる。

「私の信条は、会員さんあってこそこのシルバー人材センターということです。理事、事務局長になっても忘れることはありません。」

井原さんは、トレードマークの元気な声でさらにこう続ける。



井原博道 常務理事兼事務局長（左）

「会員さんはどなたも貴重な経験を持ち、私たち職員にとって人生の大先輩です。今、当シルバー人材センターは、会員減少という困難に直面していますが、皆さんの知恵を結集すれば、必ず克服できると信じています。」

持ち前の明るさで、ぜひ私たち会員を引っ張ってほしいものだ。

§ 平成30年度定時総会 §

平成30年度の定時総会が、去る6月15日9時30分から南部総合福祉センターにおいて、来賓として佐渡市長、戸田市議会議員、市福祉サービス部濱口部長ら同部幹部の方々が出席されて開催されました。

齊藤会長挨拶のあと、佐渡市長、戸田市議会議員長の挨拶があり、その後議事に入り、平成29年度の事業報告、収支決算報告が全会一致で承認されました。

また、井原事務局長が理事に選任され、臨時理事会の互選により、常務理事（業務執行理事）に就任されました。



通勤のボンネットバスの 中でデート申し込み

～ 開墾地の新婚生活は水道なし、ガスなし～



林 勝男・東 夫妻 (大日小地区1班)

街路樹班、花壇班などで活躍中の林勝夫さん・東(あずま)さん夫妻。佐倉市との境界に近い大日のお宅にうかがうと、20畳以上もあるリビングには奥さんの東さんが描いた美しい「花の水彩画」があふれていた。勝夫さんの解説によると、奥さんが県立高校の事務職を定年退職した10数年前から描き始めたもので、絵の題材は庭や部屋の中で二人が育てた草花がほとんど。「絵の技術の良し悪しは、僕には分かりませんが、どれもなぜか心を慰めてくれます」

普段は絵をほめることのないという勝夫さんの、そのしみじみとした言葉を耳にした東さんは照れながら嬉しそうに声を立てて笑った。

林夫妻がこの大日の地で所帯を持ったのは、昭和45年のことだ。「来年は金婚式ですね。」と水を向けると、互いにならずき合い、遠い昔を思い起こす表情になった。

「結婚当初、周囲は梨園のほか一面の荒地。水道もガスもなくね…」と勝夫さん。「そうそう、

当時ここいらは井戸で水くみして、炊事はかまど、火鉢。」と東さん。不便な生活の中でも男の子二人を育て上げた。

現在の大日一帯は戦前、陸軍の広大な演習場だった。昭和21年頃から開墾が始まり、東さんの一家は入植者の先駆けとして、銚子からやってきた。東さんが3歳になったばかりの頃だった。一方、勝夫さんは43年に成田の三里塚から来て開墾地を買い、家を建てた。東さんと所帯を持つまでの約2年間は、新築にたった一人で暮らしていたという。

さて、お二人が同じ開墾地に住み始めたのは、まさに偶然というほかないのだが、夫婦の契りを結ぶきっかけは何だったのか。「通勤に使っていた京成バスの中で、彼から誘われたんです。いつも私をチラチラ見ていた彼が、ある日、今度飯でも食わないか、って。」

当時、国鉄の四街道駅から京成電車の志津駅まで京成バス(現、千葉内陸バス)が走り、勝夫さんと東さんは通勤用に毎朝乗っていた。まだ未舗装で、ドタバタ道を走るボンネットバスの中だった。ここから、林夫妻の金婚式に至る夫婦道が始まったのである。

「今思えば懐かしい思い出ばかりです。」

東さんは咲き残った庭の赤いバラを見つめて、ひときわ優しい顔になった。

(インタビューー 野村編集委員)



リビングにて



ご主人の勧めで

～ 勇気を出して入会 ～



安武 千香子 会員
(栗山小地区1班)

入会させて頂いて三ヶ月余りが過ぎました。

昨年未まで、永年勤めていた仕事を退職し、何か社会参加をしなければと考えていたところ、主人が以前よりシルバー人材センターの会員になっておりましたので、入会を

勧めてくれました。

まだ体力的に限界を感じておらず、勇気を出して入会の申し込みをしました。講習会で説明を受け、職群班の内容の種類の多さに驚きました。

特別な資格を持っていなくても出来る仕事があるのか、少し迷いましたが、何とか五項目を選択しました。

現在、生活サポート班で二軒のお宅に伺っています。全く知らないお宅の家庭に入って仕事をするに、多少不安を感じましたが、発注者の方のお役にたっていると信じてやっております。班のリーダーさんにも声を掛けて頂いて、お世話になっています。

健康と事故に注意して、頑張りたいと思います。



私の特技

囲碁五段・将棋初段・麻雀初段

～ シルバーは心地よい居場所 ～



坪井 鉄司 会員
(四街道小地区1班)

シルバー人材センターに入って11年目、まもなく78歳になります。現在、

援農作業班と芝生作業班の班長を務めております。楽しく仕事ができ、お小遣いをいただき、おまけに定年がないなんて天国です。

こんな居場所は滅多にありません。脳と体が正常な間は、会員でいます。

そんな場所があるから、私は心おきなくライフワークの「認知症予防教室」の運営に打ち込めるのです。

私の特技は、囲碁五段、将棋初段、麻雀初段です。数年前、それらを社会でお役に立てないかを考えました。人並みの暮らしができるようになり、やっと「真に人を思いやる、お役に立つ」心が湧いてきました。

教室は3団体を運営しており、四街道公民館で開催、初心者、初級者が対象です。現在、生徒は30人ほどで(男性3人・女性27人、65歳～87歳)、まだ増えます。手段は、「麻雀、トランプ、囲碁」です。講師は、私を含め5人です。「脳トレ」は、ゲームも運動も楽しく永く継続することが肝要です。

シルバー人材センターへの入会者も、お客様も発生しました。これまた楽しいですね。

編集後記

「会員増強促進委員会」が発足しました。大いに期待されるところです。

当シルバー人材センターの会員数は、緩やかに減少しています。一方、市から「四街道市介護予防・日常生活支援総合事業に係る指定事業者」に指定されるなど、今後需要の伸びが期待されています。

会員の皆様！！ 知人・友人の方々にシルバー人材センターのPRと、「一緒にやりましょう」と一声かけて下さい。

そうです。皆様一人ひとりが営業担当なのです。

広げよう！ 「働く喜びと社会参加」

会 員 数

男 性	415名
女 性	132名
合 計	547名



平成30年 6月末日現在

最高登録会員数 平成24年1月末 672名